



令和3年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和3年2月10日

上場会社名 新潟交通株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9017 URL <http://www.niigata-kotsu.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 星野 佳人
 問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 保坂 健一 TEL (025)246-6327
 四半期報告書提出予定日 令和3年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績（令和2年4月1日～令和2年12月31日）

(1) 連結経営成績〔累計〕

（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 3年3月期 第3四半期 | 10,024 | △29.9 | △1,052 | — | △1,011 | — | △766 | — |
| 2年3月期 第3四半期 | 14,302 | △3.7 | 1,041 | △17.5 | 813 | △15.1 | 517 | △1.3 |

（注）包括利益 3年3月期第3四半期 △747百万円（—％） 2年3月期第3四半期 517百万円（9.1％）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 3年3月期 第3四半期 | △199.50 | — |
| 2年3月期 第3四半期 | 134.79 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 3年3月期 第3四半期 | 56,579 | 16,784 | 29.7 | 4,368.48 |
| 2年3月期 | 55,175 | 17,570 | 31.8 | 4,572.84 |

（参考）自己資本 3年3月期 第3四半期 16,784百万円 2年3月期 17,570百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2年 3月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 3年 3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 3年 3月期(予想) | | | | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年3月期の連結業績予想（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|----|--------|-------|--------|---|--------|---|-----------------|---|------------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 通期 | 12,670 | △32.1 | △2,100 | — | △2,200 | — | △1,870 | — | △486.69 | |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|---------|------------|-------|------------|
| 3年3月期3Q | 3,864,000株 | 2年3月期 | 3,864,000株 |
|---------|------------|-------|------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 3年3月期3Q | 21,836株 | 2年3月期 | 21,726株 |
|---------|---------|-------|---------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|---------|------------|---------|------------|
| 3年3月期3Q | 3,842,195株 | 2年3月期3Q | 3,842,417株 |
|---------|------------|---------|------------|

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記..... | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間..... | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間..... | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)..... | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |

1.当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響等により個人消費・生産活動が停滞し、極めて厳しい状況で推移しました。先行きについては、新型コロナウイルスの感染拡大状況や社会経済活動の動向等により、依然として不透明な状況となっております。

こうした事業環境の中、当社グループではお客様や従業員に対する感染防止対策を徹底しながら、グループ一丸となって事業を展開しました。その結果、G o T o トラベルキャンペーンの効果等により当第3四半期の業績は回復基調にありましたが、上半期までの需要低迷や足元の感染再拡大、ならびにG o T o トラベルキャンペーンの一時停止措置の影響等により前年度水準までの回復には至らず、すべての事業において前年同期比減収となりました。

当第3四半期連結累計期間の総売上高は10,024百万円(前年同期比29.9%減)、営業損失は1,052百万円(前年同四半期は営業利益1,041百万円)、経常損失は1,011百万円(前年同四半期は経常利益813百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は766百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益517百万円)となりました。

セグメントの業績の概況は、次の通りであります。

○運輸事業

一般乗合バス部門では、新潟市内を運行する路線バスの全車両に抗ウイルス・抗菌効果が期待される「光触媒コーティング」を施工する等、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うお客様のご利用状況の変化に合わせ11月21日にダイヤ改正を実施しました。12月にはM a a S (Mobility as a Service) アプリ「りゅーとなび」および市街地オンデマンドバス「しも町オンデマンドバス」の実証実験を開始し、利便性の高い移動サービスの提供を通じてバス利用の普及に努めました。しかしながら、外出自粛等による利用者減少により、一般乗合バス部門全体では前年同期比減収となりました。

高速バス部門では、需要状況を考慮して減便を行ったことに加えて、雪による交通障害の影響に伴い期間運休を行ったこと等により前年同期比減収となりました。

貸切バス部門では、修学旅行やG o T o トラベルキャンペーンを活用したバスツアーの催行等により車両の稼働率は持ち直しの傾向が見られましたが、新型コロナウイルスの感染拡大やG o T o トラベルキャンペーンの一時停止措置に伴う受注キャンセルの影響等により前年同期比減収となりました。

この結果、運輸事業の売上高は4,554百万円(前年同期比32.2%減)となりました。

○不動産事業

万代シティの賑わい創出のため、感染防止対策を徹底した上で屋外イベントを開催したほか、10月および11月にはシルバーホテルビルに新店舗を誘致する等、街区の魅力向上に努めました。しかしながら、テナント賃料減免対応や外出自粛による来街者減少の影響等により、賃料収入は前年同期比減収となりました。また、駐車場利用台数の減少により、駐車場収入も前年同期比減収となりました。

この結果、不動産事業の売上高は2,014百万円(前年同期比6.7%減)となりました。

○商品販売事業

観光土産品卸売部門では、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛等の影響に伴い各種土産品の売上が低調に推移したこと等により、前年同期比減収となりました。

この結果、商品販売事業の売上高は1,187百万円(前年同期比34.3%減)となりました。

○旅館事業

新潟市内の「万代シルバーホテル」、佐渡市内の「国際佐渡観光ホテル八幡館」ともに、G o T o トラベルキャンペーンの効果等により宿泊需要の持ち直し傾向が見られましたが、新型コロナウイルスの感染拡大やG o T o トラベルキャンペーンの一時停止措置の影響等により、引き続き宿泊・宴会需要が低迷し、売上高は前年同期比減収となりました。

この結果、旅館事業の売上高は624百万円(前年同期比55.7%減)となりました。

○その他事業

旅行業では、G o T o トラベルキャンペーンの効果もあり、個人・小グループ向け宿泊プランや県内日帰りを中心としたバスツアー等においては旅行需要回復の兆しが見られましたが、引き続き、受注型旅行（一般団体）における取扱いが低迷したことやG o T o トラベルキャンペーンの一時停止措置に伴うツアーの中止・キャンセルの影響等により、前年同期比減収となりました。

広告代理業においては、新型コロナウイルス感染症に伴う広報宣伝活動の縮小やイベント中止等の影響に伴い受注が減少したこと等により、前年同期比減収となりました。

航空代理業においては、国内・国際線ともに運休便の発生に伴い業務受託手数料が減少したこと等により、前年同期比減収となりました。

清掃・設備・環境業においては、清掃部門において「光触媒コーティング」の受注が好調に推移しましたが、環境部門における古紙・金属くず等のリサイクル品の価格低下の影響等により、前年同期比減収となりました。

この結果、その他事業全体の売上高は1,643百万円（前年同期比25.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明**資産、負債及び純資産の状況**

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や有形固定資産が増加したこと等により、前期末に比べ1,403百万円増加し、56,579百万円となりました。

負債は、短期借入金の増加などにより、前期末に比べ2,189百万円増加し、39,794百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の減少などにより、前期末に比べ785百万円減少し、16,784百万円となり、自己資本比率は29.7%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年3月期の通期の連結業績予想につきましては、令和2年8月11日に公表した業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和2年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日) |
|--------------|------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,762,485 | 2,405,971 |
| 受取手形及び売掛金 | 909,885 | 947,317 |
| 商品及び製品 | 204,722 | 213,069 |
| 原材料及び貯蔵品 | 133,995 | 148,360 |
| その他 | 343,200 | 402,964 |
| 貸倒引当金 | △8,308 | △8,416 |
| 流動資産合計 | 3,345,980 | 4,109,266 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 9,245,672 | 8,896,415 |
| 土地 | 36,851,833 | 36,835,603 |
| その他(純額) | 4,075,374 | 4,780,211 |
| 有形固定資産合計 | 50,172,881 | 50,512,230 |
| 無形固定資産 | 277,502 | 290,243 |
| 投資その他の資産 | 1,379,189 | 1,667,596 |
| 固定資産合計 | 51,829,574 | 52,470,071 |
| 資産合計 | 55,175,554 | 56,579,337 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 580,824 | 752,823 |
| 短期借入金 | 6,566,627 | 13,217,166 |
| 1年内償還予定の社債 | 30,000 | 15,000 |
| 未払法人税等 | 124,863 | 177,423 |
| 賞与引当金 | 149,412 | 66,947 |
| その他 | 2,905,421 | 3,056,043 |
| 流動負債合計 | 10,357,148 | 17,285,404 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 3,700,000 | 3,700,000 |
| 長期借入金 | 15,674,738 | 11,219,687 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 4,014,139 | 4,014,139 |
| 役員退職慰労引当金 | 141,714 | 144,920 |
| 退職給付に係る負債 | 432,135 | 425,999 |
| その他 | 3,285,589 | 3,004,767 |
| 固定負債合計 | 27,248,316 | 22,509,513 |
| 負債合計 | 37,605,465 | 39,794,918 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (令和2年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日) |
|---------------|------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,220,800 | 4,220,800 |
| 資本剰余金 | 2,946,580 | 2,946,600 |
| 利益剰余金 | 2,230,950 | 1,425,995 |
| 自己株式 | △37,512 | △37,754 |
| 株主資本合計 | 9,360,819 | 8,555,642 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △9,782 | △17,770 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | 29,985 |
| 土地再評価差額金 | 8,211,834 | 8,211,834 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 7,217 | 4,727 |
| その他の包括利益累計額合計 | 8,209,269 | 8,228,776 |
| 純資産合計 | 17,570,089 | 16,784,419 |
| 負債純資産合計 | 55,175,554 | 56,579,337 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日) |
|---------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 売上高 | 14,302,012 | 10,024,849 |
| 売上原価 | 10,102,026 | 8,367,351 |
| 売上総利益 | 4,199,985 | 1,657,498 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,158,029 | 2,710,257 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 1,041,956 | △1,052,759 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 190 | 144 |
| 受取配当金 | 9,378 | 9,339 |
| 持分法による投資利益 | 779 | — |
| 保険返戻金 | 9,678 | 15,119 |
| 雇用調整助成金 | — | 317,084 |
| その他 | 13,307 | 24,961 |
| 営業外収益合計 | 33,334 | 366,649 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 228,540 | 232,516 |
| 持分法による投資損失 | — | 1,595 |
| 資金調達費用 | — | 64,415 |
| その他 | 33,426 | 27,333 |
| 営業外費用合計 | 261,966 | 325,859 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 813,323 | △1,011,969 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,491 | 3,964 |
| 補助金収入 | 13,010 | 60,424 |
| その他 | 500 | 14 |
| 特別利益合計 | 16,001 | 64,403 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 2,763 | 2,053 |
| 固定資産除却損 | 24,702 | 8,907 |
| 新型コロナウイルス感染症対応による損失 | — | 69,936 |
| その他 | 10,794 | 14,964 |
| 特別損失合計 | 38,259 | 95,862 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 791,065 | △1,043,428 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 254,561 | 27,390 |
| 法人税等調整額 | 18,576 | △304,286 |
| 法人税等合計 | 273,137 | △276,895 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 517,927 | △766,532 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 517,927 | △766,532 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日) |
|-------------------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 517,927 | △766,532 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,946 | △7,988 |
| 繰延ヘッジ損益 | 6,916 | 29,985 |
| 退職給付に係る調整額 | △5,612 | △2,490 |
| その他の包括利益合計 | △642 | 19,506 |
| 四半期包括利益 | 517,285 | △747,025 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 517,285 | △747,025 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|---------|-------|------------|-------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 運輸事業 | 不動産事業 | 商品 販売事業 | 旅館事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,716 | 2,160 | 1,807 | 1,410 | 12,095 | 2,206 | 14,302 | — | 14,302 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 120 | 319 | 38 | 17 | 495 | 520 | 1,016 | △1,016 | — |
| 計 | 6,837 | 2,479 | 1,845 | 1,428 | 12,590 | 2,727 | 15,318 | △1,016 | 14,302 |
| セグメント利益又は 損失(△) | △288 | 855 | 98 | 74 | 740 | 299 | 1,039 | 2 | 1,041 |

(注) 1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行業、広告代理業、航空代理業、清掃・設備・環境業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自令和2年4月1日至令和2年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|---------|-------|------------|------|-------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 運輸事業 | 不動産事業 | 商品 販売事業 | 旅館事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,554 | 2,014 | 1,187 | 624 | 8,381 | 1,643 | 10,024 | — | 10,024 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 89 | 306 | 20 | 10 | 427 | 454 | 882 | △882 | — |
| 計 | 4,644 | 2,321 | 1,208 | 634 | 8,808 | 2,098 | 10,907 | △882 | 10,024 |
| セグメント利益又は 損失(△) | △1,453 | 845 | △36 | △333 | △976 | △23 | △1,000 | △52 | △1,052 |

(注) 1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行業、広告代理業、航空代理業、清掃・設備・環境業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。